

平成 30 年 11 月 17 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

芦屋市立あしや市民活動センター
(指定管理者：(特活) あしや NPO センター)
事務局長 橋野 浩美

実施報告

- 1 事業名：市民活動団体のための助成金講座（指定管理事業）
- 2 実施日：平成 30 年 11 月 17 日（土）10：00～12：00
- 3 担当：奈良雅美
- 4 参加者数：3 名（参加費収入 3,000 円）＊申込 4 名
- 5 目的：助成金を自団体で効果的に活用するためのコツを体系的に学ぶ
- 6 講師：奈良雅美
- 7 配布資料：レジメ、助成金資料
- 8 内容：

概論として、資金開拓の考え方、助成金とは、申請書類に求められること、分かりやすく伝えるポイント、助成金情報などを説明した。また、個別の質問を受けながら、助成金の問題にとどまらず、組織の事業そのものの在り方も取り上げた。講座後に個別の質問にも応じた。
- 9 参加者の感想：
 - ・何も予備知識がない状態で参加したので助成金の概要をおぼろげながら理解できた。自分たちの活動にどう助成金をつなげていけるか、とっかかりをつかんだ。
 - ・助成金は魅力的だが、事務手続きが必要なので体制をしっかりする必要がある。一人体制なので性急に進めずまず体制づくり等準備が大事だとわかった。
 - ・初めて助成金の話しを聞いた。申請書を書くことによって（団体・事業の）課題がはっきりしてくる。整理ができるとわかった。まず書いてみようと思った。
- 10 担当者の振り返り

助成金申請は難しい、手間がかかる、などのイメージがある。また助成金を単なる資金獲得の方法と捉えていると、採択されるのは難しい。事業や団体の成長につながる投資的意味合いでとらえていく必要性を感じてもらえたのではないかと。

参加者は少なかったが参加者同士が対話しやすい雰囲気になり、お互いにアイデアや助言を与えあった。今後のつながりも期待できる様子も見られた。助成

金は、財源開拓、財源構成の中で考える必要がある。そのため今後の伴走的支援を求める声があった。可能な限り継続して支援していきたい。

以上

